

令和3年6月9日開会

令和3年第2回木曾岬町議会定例会

所 信 表 明

町 長

皆様、おはようございます。

本日は、令和3年第2回木曾岬町議会定例会を招集いたしましたところ、全議員、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

4月20日告示の町長・町議会議員の同時選挙に於いて、議員の皆さんと共に無投票当選という結果をいただきました。

私自身、四期目の町政運営を担わせていただく事となり、無投票当選の意義と、その責任の重さを改めて痛感いたしております。改選後、初の町議会定例会でありまして、開会日にお時間をいただき、町長の所信を述べさせていただく次第であります。

四期目の町政運営にあたって、私は、まず初心にかえって原点であります、町民の皆さんと共に「誠実に信頼の町政」をモットーに、安全・安心の「明るく住みよい町」、「魅力のある元気な町」を目指して、「至誠通天」何事にも誠心誠意全力を尽くして、町民の皆さんの負託に応えて行かなけれ

ばならないと決意を新たに致しております。

昨年、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、一年半程になりますが、コロナ感染症のニュースが報道されなかった日があったでしょうか。

わが国に於いてもかつて経験した事のない様な事態が今日もなお続いており、皆さんには、大変な不安とご苦勞の毎日であり、生活や経済に及ぼす影響は、計り知れないものとなっています。

本町に於いては、一早く対策本部を設置し、感染防止対策と経済支援策、両面にわたってコロナ対策に取り組んで参りました。

一方、ワクチン接種につきましては、町内2ヶ所の医院による個別接種で65才以上の高齢者の方々を75才以上と74才以下の方々に分けて接種を始め、75才以上の方々は、すでに6月5日までに2回目接種を終え、74才以下65才以上の方々は、6月7日から始まり、7月4日には、2回目接種を終える予定であります。

更に、64才以下12才以上の皆さんについても、ワクチ

ンが配分され次第、接種が出来る準備態勢を整えております。

是非、全員の方々にワクチン接種を受けていただいて、感染リスクを下げると共に、新しい生活様式を定着させて、一日も早くコロナ禍を乗り越えて、安全で安心して暮らす事のできる日常を取り戻し、更には、町内の其々の行事やイベント、皆さんの活動を元気に楽しく開催できる様に、皆様のご理解とご協力をいただいて、この苦難を乗り越えて行きたいと思っております。

まず、コロナ対策に万全を期しながら、その上で防災・減災対策を第一に、命を守り、町を守る為のハード整備を急ぐと共に、皆さんの防災意識を高め、自主防災力の充実強化を図り、情報伝達や広域避難の防災訓練等、ソフト対策に力を入れて行きたいと考えています。又、地域BWA事業や高齢者の交通手段や自主運行バスの拡充等、安全・安心で便利な住みよい町を目指して参ります。

一方、本町は、人口ビジョン総合戦略の重点事業として推進を図っている「定住化対策」や「少子化対策」等は、本町

に限らず、多くの市町村が抱えている課題ではありますが、本町の重要課題として、役場庁内でプロジェクトチームを設置して、重点事業を検証し、具体策を定住化や少子化対策に反映して行きたいと考えています。

又、子育て支援の拡充や小中学校では、ICT教育の充実や、木曾岬町の魅力を体感し、郷土への愛着や誇りを育んでくれる様な体験学習等、更に力を入れて行きたいと思えます。

更には、南部幼稚園・保育園の園舎を改修して、「ふれあいの里」を福祉事業や地域交流の拠点として、健康増進や福祉の充実を図り、健康長寿の町づくり等、子どもたちから高齢者の皆さんまでが、わが町に魅力を感じ、生き生きとした輝きのある元気な町を目指して参ります。

木曾岬町は、第5次総合計画を町づくりの指針として施策の推進を図っていますが、平成から令和の時代を迎え、新しい時代認識と将来を見据えた木曾岬町の将来像と、その町の基盤づくりが求められています。

本町は、愛知県との県境地に位置し、大都市近郊の町であ

り、名古屋港に隣接し、臨海工業地帯の中心にあるポテンシャルの高い町であります。

しかしながら、経済圏や生活圏を結ぶ基幹道路や交通機関と言えば、国道23号線と伊勢湾岸自動車道がありますが、いずれも町の上を東西に通過しており、国道1号線や鉄道につながる南北の基幹道路もありません。

生活や経済だけでなく、防災上や危機管理上からも主要道路へつなぐ南北軸と愛知県側とのアクセス道路と一体的な地域づくりは木曾岬町の発展には、不可欠であります。長年の懸案でしたが、県道バイパスが23号線を交差して、北へ開通し、念願であった南北を結ぶ事ができ、更に、北へ延伸を図って参ります。

愛知県側への道路アクセスについては、待望の木曾岬干拓地の新輪工業団地の分譲が順調に進み、立地企業の大規模な建設工事が相次いでおり、三重県がようやく本格的に取り組んでいただく事となって参りました。

この時の事を念頭に町長就任以来、愛知県の方々との交流を大切にして参りましたが、三重県と連携しながら1年

でも早く、実現できる様に頑張っていきたいと思います。

その木曾岬干拓地であります。予定を一年繰り上げて分譲する程、順調に進んでいますが、本町にとっては、より波及効果の高い企業誘致に重点を置いて、三重県と連携を図って行きたいと考えています。

更には、未着手の南部の土地利用については、未だに長い年月を要する事となっており、企業誘致が1年でも早く実現できる様に努力すると共に、木曾岬干拓地全体がポテンシャルの高い位置にある事から、地域資源を生かした夢のある都市空間の形成等、民間活力も視野にバランスの取れた魅力のある町づくりに知恵を出し、汗をかいて行きたいと考えています。

一方、木曾岬干拓地の企業誘致や都市型の土地利用が進む事によって、財政基盤の安定化を図ると共に、雇用の創出によって若い世代の定住化を促し、少子化対策につなげて行きたいと考えています。

以上、町政推進にあたって主要な施策方針を申し上げましたが、まずは、コロナ対策、その上で、継続中の事業を更

に促進させ、仕上げると共に、長年の懸案課題を着実に前進させ、実現を図る一方で、課題によっては、着実に道筋をつけて行く事等、将来を見据えた町の基盤をしっかりと築いて行かなければならないと考えています。

未来に向かって、皆さんと共に「魅力のある元気な町」を目指し、木曾岬町の更なる発展の為に、全力を尽くして参る所存でございますので、何卒、町議会の皆様、町民の皆様の深いご理解とご支援、ご協力を切にお願い申し上げまして、所信表明といたします。

令和3年6月9日

木曾岬町長 加藤 隆